

TAYCA REPORT

第151期 中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



WE TRY NEW

いつも未来に挑戦

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成28年9月30日をもって、第151期の第2四半期連結累計期間を終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長
名木田 正男



当第2四半期連結累計期間における業績のポイント

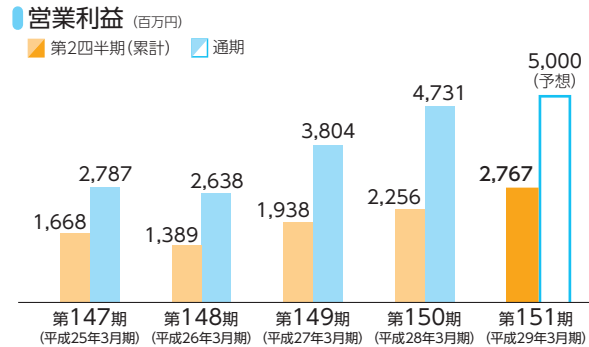
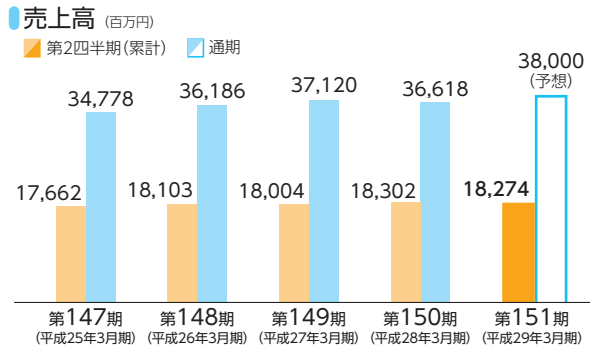
- タイの連結子会社の売上高が為替の影響により円建てで前年同期を下回ったものの、機能性製品の販売が好調に推移したこと等により、売上高は微減ながら、利益は増加。

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の中間配当金は1株当たり6円とさせて頂きました。

年間配当金 (平成29年3月期)

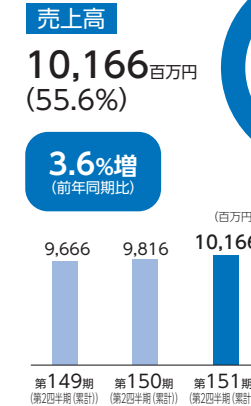
中間	期末	合計
6円	6円 (予定)	12円 (予定)

連結財務ハイライト



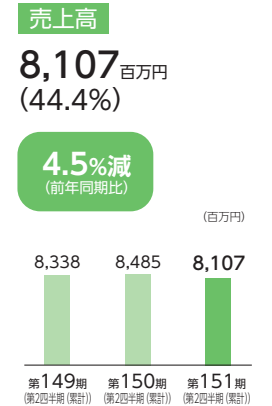
酸化チタン関連事業

- ▶ 汎用用途の酸化チタンは、国内の塗料・インキ向けの販売が堅調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回る。
- ▶ 機能性用途の微粒子酸化チタンは売上高が円高の影響を受け前年同期並みにとどまるも、表面処理製品は化粧品向けが好調に推移し、販売数量、売上高ともに前年同期を上回る。



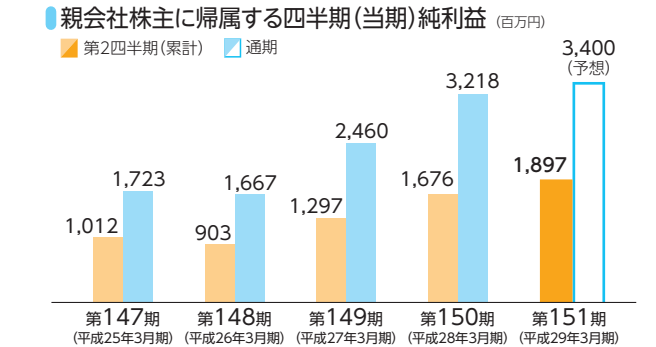
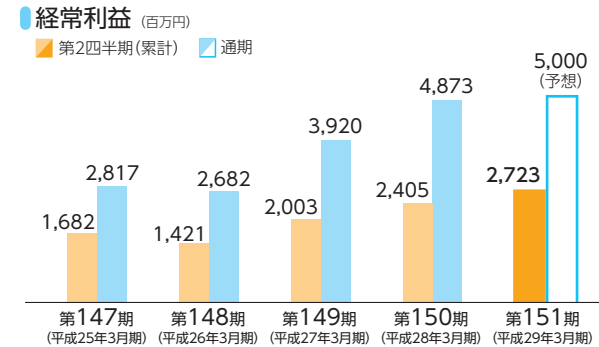
その他事業

- ▶ 界面活性剤は、日用品向けが概ね順調に推移し、販売数量は前年同期を上回る。タイの連結子会社の販売数量は前年同期を上回るも、円建ての売上高は前年同期を下回る。
- ▶ 無公害防錆顔料は売上高が前年同期を下回るも、導電性高分子薬剤はコンデンサ向けが好調に推移し、売上高は前年同期を上回る。
- ▶ エレクトロ・セラミックス製品、倉庫業ともに、売上高は前年同期を上回る。



主要な事業内容	会社名
酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、赤外線遮蔽酸化チタン、光触媒用酸化チタン等の製造、販売	当社 テイカ商事(株)

主要な事業内容	会社名
界面活性剤、硫酸、無公害防錆顔料、導電性高分子薬剤、エレクトロ・セラミックス製品等の製造、販売 化学工業薬品等の輸送、保管	当社 テイカ倉庫(株) テイカ商事(株) ティーエフティー(株) テイカM&M(株) TAYCA (Thailand) Co.,Ltd. TAYCA (VIETNAM) CO.,LTD.



テイカのチカラ Vol.6 生産力 「大阪・岡山・熊山工場」編

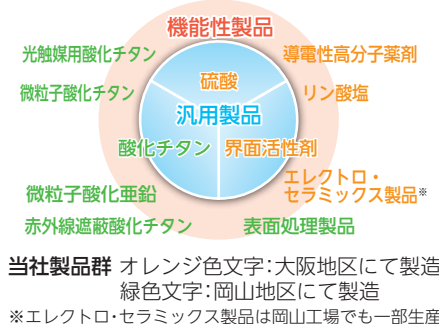
テイカの事業について、わかりやすくテイカ博士をご紹介します。
 第6回は、当社の4つの「生産工場」です。

生産工場

大阪府1拠点、岡山県3拠点で当社製品はつくられています。

1920年(大正9年)に当社は大阪工場を建設し、鉛室式硫酸の製造を開始しました。その後、硫酸を基礎材料に酸化チタン、界面活性剤へと製造の範囲を拡げてきました。

現在は、界面活性剤・硫酸関連製品を大阪工場で、酸化チタン関連製品を岡山工場、熊山工場、熊山工場 長船分工場で生産しています。



大阪地区〈大阪工場〉

界面活性剤や硫酸などを生産しています。

1920年(大正9年)に稼働を開始した大阪工場は、木津川と木津川運河に挟まれた港湾隣接地にあり、船舶輸送に適していることから、利便性にも非常に優れています。

同敷地内には研究所が配置されており、研究所と工場が連携を取りながら、製品開発や量産化を行う体制を構築しています。

大阪工場の主な製品、用途

界面活性剤:家庭用洗剤、シャンプー
 硫酸:肥料、医療品、染料
 エレクトロ・セラミックス製品:超音波エコー



大阪工場(敷地面積:61,000㎡)
 所在地:大阪市大正区船町1-3-47

硫酸部門は関西地区における数少ないメーカーとして、多様化するニーズに応じて製品の特殊化を推進しています。

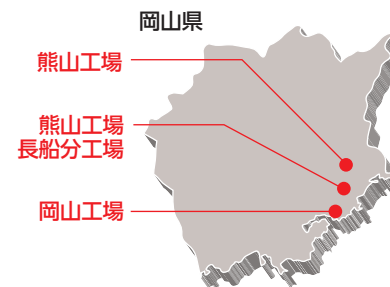
テイカ博士

岡山地区〈岡山工場、熊山工場、熊山工場 長船分工場〉

酸化チタンや表面処理製品などを製造しています。

1942年(昭和17年)に稼働を開始した岡山工場は、吉井川河口の水門湾隣接地に位置し、大阪工場と同様に船舶輸送に適しており、利便性にも非常に優れています。

熊山工場 長船分工場は、岡山工場で生産した微粒子酸化チタンなどの無機粒子の表面処理を行う専用工場として、1996年(平成8年)に稼働を開始しました。その後、需要の増加に伴い、2006年(平成18年)に熊山工場が稼働を開始し、2015年(平成27年)には熊山工場の敷地内に第2工場を新たに建設しています。



岡山工場(敷地面積:175,000㎡)
 所在地:岡山県岡山市東区西幸西1072



熊山工場 長船分工場(敷地面積:9,300㎡)
 所在地:岡山県瀬戸内市長船町長船1239-1



熊山工場(敷地面積:21,000㎡)
 所在地:岡山県赤磐市小瀬木50-1

岡山工場の主な製品

酸化チタン:塗料、グラビアインキ
 微粒子酸化チタン:化粧品(UVケア、ファンデーション)

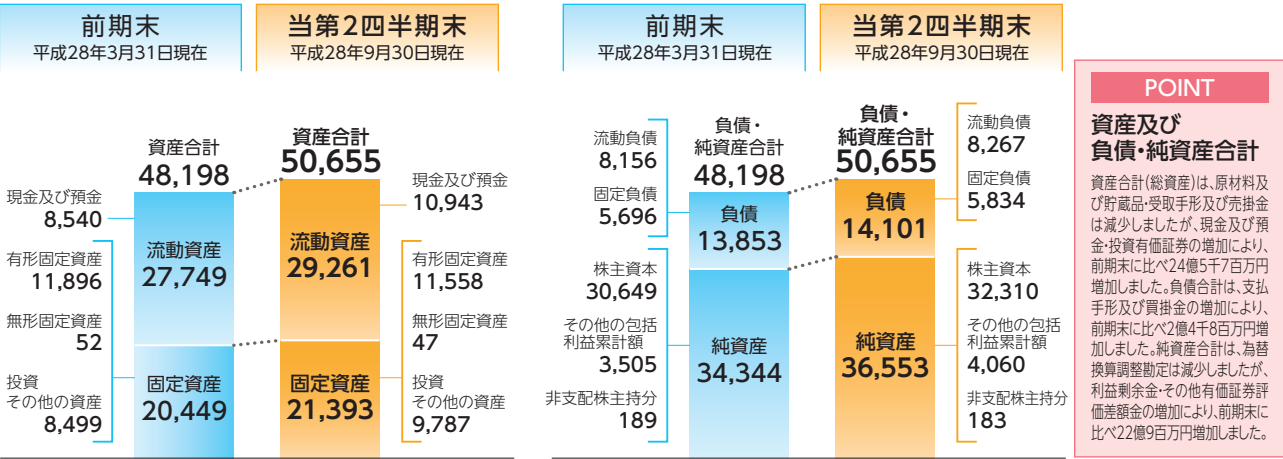
熊山工場の主な製品

表面処理製品:化粧品、記録材料(トナー添加剤)

化粧品用途の微粒子酸化チタン等の製品は、業界に先駆け、国際的な製造品質管理基準である「原薬GMP」に基づく管理体制のもと、生産を行っています。

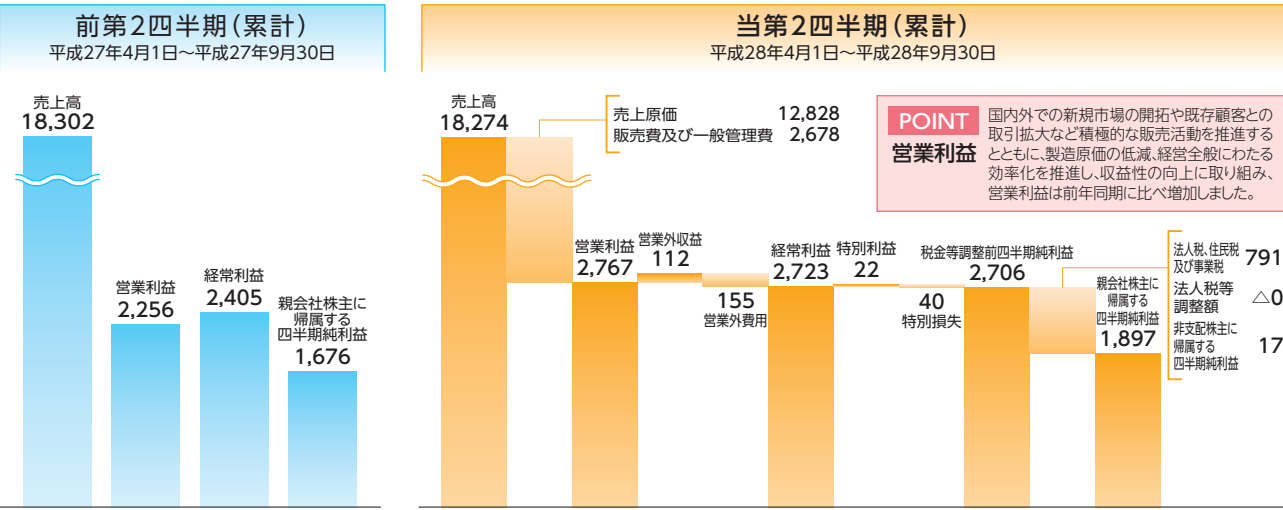
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



株式の状況

(平成28年9月30日現在)

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式の総数 51,428,828株
株主数 3,798名
大株主

株主名	所有株式数(千株)
三井物産株式会社	3,568
三菱商事株式会社	3,260
KBL EPB S.A. 107704	3,153
山田産業株式会社	2,940
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	2,018

(注) 当社は、自己株式4,195千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

会社概要

(平成28年9月30日現在)

設立 大正8年12月
資本金 9,855,953,999円
従業員 478名
事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面处理製品、無公害防錆顔料ほか)

役員	代表取締役会長	清野 學
	代表取締役社長	名木田 正男
	常務取締役	山崎 博史
	常務取締役	辺見 武志
	取締役	池上 毅
	取締役	戸澤 正明
	取締役	西野 雅彦
	取締役	田中 等
	取締役	尾崎 まみこ
	常勤監査役	岡田 功勝
	常勤監査役	宮崎 晃
	監査役	山田 裕幸
	監査役	山本 浩二

(注) 取締役 田中 等、尾崎まみこの各氏は、社外取締役であります。常勤監査役 岡田功勝ならびに監査役 山田裕幸、山本浩二の各氏は、社外監査役であります。また、当社は株式会社東京証券取引所に対して田中 等、尾崎まみこ、山田裕幸、山本浩二の各氏を独立役員とする届出書を提出しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 6月下旬
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

公告方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.tayca.co.jp/>
(ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部

テイカ 100周年へ

あの日あの時 第7回

1979年11月、 創立六十周年の記念祝賀会を開催

当社は1919年（大正8年）12月22日、硫酸と過燐酸肥料を主製品とする帝国人造肥料株式会社として創立され、1979年（昭和54年）をもって創立六十周年を迎えました。

これを記念して行われた11月27日ホテルプラザ（大阪）と11月29日ホテルオークラ（東京）の祝賀会では、関係者への謝恩の意を表しました。また、従業員に対しては、11月28日に記念品・祝儀を支給しました。



創立六十周年記念祝賀会 於：ホテルプラザ
(1979年11月27日)



縮合リン酸塩製造工場(K工場)竣工式
(1981年11月15日)

1981年10月、 大阪工場で縮合リン酸塩の製造開始

1981年(昭和56年)10月、生産能力が月産25トンの縮合リン酸塩の製造工場を竣工しました。現在は、環境規制に対応する環境対応型防錆顔料(塗料などの錆止め用途)を中心に展開しています。

TAYCA
テイカ株式会社

<http://www.tayca.co.jp/>



UD
FONT

本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。